

活動内容

〈 題 〉 簡単に人から学び得ない「キノコの知識」を深める

学級名 湯沢地域交流活性化センター

学級担当者 澤田邦男

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員： 湯沢活性化センター職員 5 名
- ・ 学級の運営組織： 湯沢団地、飯岡地区、地域周辺住民
- ・ 学習のねらい・重点： きのが持つ不思議な世界を知り、更に自然環境と森林とキノコの繋がりを知る
食用キノコと毒キノコの判別の仕方を学び、キノコの栄養成分を知り、キノコから考える健康の大切さを学ぶ。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
1	06/09/18	きのこの不思議な世界へようこそ	盛岡市広域森林組合職員 きのこアドバイザー 高橋久祐氏	32 名
		内容	感想など	
		○キノコと森林の繋がり ○都南つどいの森周辺のキノコたち ○キノコから考える食と健康 ○植物と菌類の関係性 ○野生のキノコについて ○日々の胞子活動について	林業に拘りながらキノコの探求をしていて知識もトークも素敵で素晴らしい先生だと思いました。 この学習に参加した生徒としてキノコの知識が増えて良かった。 今後の森歩き散策が楽しみ、野外の観察会もいいですね。 キノコを通じて健康などへの知識が広がり大変有意義な学習となった、2 回目をお願いします。	
	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
		内容	感想など	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・活動において工夫したこと など

キノコについて初めての取り組み（学習）だったので実際の森林散策、採取で実物の確認授業があっても良いと感じた。

(2) 今後の課題

きのこの不思議な世界は1回の学習だけでは身につかない、実際の現地（集いの森）などで実物の野外観察会も必要と考えます。7年度の授業で実現したい。

(3) その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など

採取したキノコを持ち込み、鑑定会を行う場を作りたい。

野生のキノコは“採るよりも、まず撮る、そして現物を視る”を集いの森で実現したい。